

建交労 どちぎ

柴又左折事故から40年 あらためて交通安全誓う



昭和五十三年九月二十七日、東京・柴又の京成金町線沿いにある交差点で、幼稚園児二人を荷台に乗せた母親の自転車が、左折するダンプに巻き込まれ三人とも即死するという痛ましい事故が起きました。ダンプ運転者は組合員でした。

ときは高度成長期 上げました。
大型車の左折事故が多くなって社会問題になりました。柴又左折事故は大きく取り上げられることになりました。組合弁護団は、從来運転手の不注意として済ませてきた左折事故を科学的に検証し、大型車特有の「死角」の問題を正面から取り

地裁は、運転者は左バッタミラーで母子を確認できた可能性が高いと認定し実刑判決を下します。ところが二審東京高裁は、弁護団が提出した科学鑑定書をもとに運転者からは母子が死角に入り確認できなかつたと一審より過

造上広範な死角が認められ運転者に過大な負担をさせないよう死角解消の対策を進めるべきだ」とはじめて言及しました。

失を軽減し執行猶予付き判決に減刑しました。また、裁判長は組合者の立場から、より安全な車両をめざして提訴について「大型車には構造上広範な死角が認められ運転者に過大な負担をさせないよう死角解消の対策を進めるべきだ」とはじめて言及しました。

①サイドミラーの大

型化とアンダーミラーの増設②サイドバンパーの改良③車体側面の方向指示器の設置④助手席ドア下部の透明化⑤左折時の警報音、低速転席車(バス)など様々な車両対策が実現しました。

協議会をつくり、労働者の立場から、より安全な車両をめざして提訴

係者らと左折事故対策全対策を、運転者ひとりが求められています。

国、自動車メーカーの責任に言及した東京高裁判決の報道(昭和58年5月)



三菱ふそうの「新型スーパーグレート」は、死角になる車体左下に人や自転車が入ると、左ピラーに設置したランプが点灯し運転者に知らせます。大型全車に装着義務を!

最新の死角対策車



現在の事故現場。40年目の朝、組合代表で献花默とう。

尊い犠牲を払つて進り一人が自覚して、安められてきた車体の安全運転に心がけること全運転に心がけること全運転に心がけることが求められています。

県道の危険木伐採に取り組む



空き缶やペットボトルなどゴミの投棄も目立ちました。

葛生町から藤坂碎石工場前を通り栃木市岩舟町に抜ける県道は、

周囲の樹木が道路上に進入し危険な状態になっています。

大型の交通量が多く、組合では県柄木土木事務所に伐採を要請して

いました。

一日、ダンプ支部工藤委員長をはじめ役員のべ十二名が参加し伐採作業に取り組みました。

みんな普段からダンプで走っている道路であり、危険個所は熟知しています。しかし、すべての危険個所を伐採するのは到底不可能です。計九か所場所を限定して行いました。

作業は危険かつ困難なものとなりました。

況でした。

組合では土木事務所と協議し、危険な箇所に限定し組合員が無償で伐採作業することを承認していただきました。

一〇月十四日、二十日、ダンプ支部工藤委員長をはじめ役員のべ十二名が参加し伐採作業に取り組みました。

長年放置された林はヤングル状態になつており、ツルが幾重にまじりのダンプ粉塵が舞い上がり鼻、耳の中まで真っ黒に。引き続き事故防止活動に取り組みます。

山内委員長は県本部の組合員数について多くの組合員の協力を現状を維持しているが、今後高齢化による組織減は避けられず、今期は今までとは違う組合員拡大の取り組みが求められている

各組織から代議員が参加し開催しました。来賓の栃木県労連阿波長次議長は「沖縄県知事選挙の勝利など、県内でもさらに市民・野党共闘を発展させようと呼びかけました。石井書記長は運動方針で、より活力ある組合活動に取り組むため、職場支部をダンプ支部の分会として編入するなど組織再編を提案しました。

市民・野党共闘つよをめ 【県本部第二〇回定期大会開催】

古い自動車への増税に納得しない男の進行形連載 自動車税払わん⑥

「組合のニュースはつまんないけれど『自動車税払わん』だけは読んでる。俺の乗用車も来年増税になるから参考に」。この組合員も払わずに異議の申立てを考えているそうです。すばらしきことです。

各都道府県で二〇人から三〇人審査請求を申し立てれば「自動車グリーン税制」は改正できませんと思います。

重要なお知らせ

お手数でも、シールをはがして中をご覧ください。ご覧いただけなかった場合の不利益には当所は一切関知いたしません。

あなたが納めるべき自動車税は、すでに納期限が過ぎています。
最寄りの金融機関又は県税事務所の窓口にて納付してください。

納付期限：平成30年9月28日（金）

順次財産の差押執行中です。

納付期限前でも、財産を見直しだい差押を執行いたします。

「差押やるやる詐欺」みたいな状況



大型ダンプ	使用者数	車両数
東京	2,609	7,548
神奈川	3,656	8,939
埼玉	3,026	7,907
茨城	4,202	7,637
千葉	4,055	10,086
群馬	2,378	4,496
栃木	2,242	4,991

情勢は大きく動いています。各種世論調査でも安倍内閣が進めようとしている憲法改正が国を代議員など二八名が参加し開催しました。来賓の栃木県労連阿波長次議長は「沖縄県知事選挙の勝利など、県内でもさらに市

民の支持を得ていいことは明らか」と、来年の参議院選挙にむけて、県内でもさらに市

国土交通省は毎年、「石とダンプの町」と呼ばれた葛生町の感染者などを公表しています。今年発表された昨年末の統計によると、ついに栃木県内の使用者数は関東で最下位、車両数についても群馬県に次いで少なく、かつ

て「石とダンプの町」と呼ばれた葛生町の感染者などを公表しています。使用者数と車両数が違うのは、一人（一社）で複数車両を所有しているケースが求められています。